

閉塞性大腸癌に対して緩和治療目的の大腸ステント留置を 受けられた患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究課題名

「緩和治療目的での閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置の適応と治療成績の検討」

2. 研究の対象となる方

2016年1月～2020年12月に当院で閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置後に根治切除術を受けられた方

3. 研究の目的

この研究では、原発巣切除の方針とならない閉塞性大腸癌に対して、緩和治療目的に大腸ステント留置を受けられた患者さんの中で、ステント留置によるメリット・デメリット、ステント留置後の長期成績、ステント関連合併症、ステント留置後の化学療法・血管新生阻害薬使用による影響について調べることを目的としています。

4. 研究の方法

この研究では、診療の際に得られた以下の情報・検査結果を使います。

年齢、性別、ステント留置日、手術日、病歴・治療内容、画像検査所見（CT、レントゲン、下部消化管内視鏡）、病理組織学的所見、血液検査結果（アルブミン、白血球、リンパ球）

5. 研究期間

成田赤十字病院 倫理委員会承認日～2024年07月19日

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、性別、ステント留置日、病歴、画像検査所見、血液検査所見、ステント関連合併症歴、化学療法歴、最終診察日、病理組織学的所見

7. 院外への試料・情報の提供

本研究は当院のみで行われる研究のため、当院外へ試料および情報の提供はありません。

8. 個人情報の保護について

この研究にご参加いただいた場合、研究を通じて得られた患者さんの記録が学術雑誌や学会で発表されることがありますが、研究を通じて得られた患者さんの記録は、個人情報保護のため匿名化され、番号等個人が特定できない形式により管理されます。

9. 研究への不参加の自由について

情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。）

但し、学会や論文で発表した後など、不参加の意思を表明した時期によっては情報の削除ができない場合もありますのでご理解ください。

10. 研究組織

成田赤十字病院 外科 米浦 直子（研究責任者）

11. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究における開示すべき利益相反はありません。

12. 連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

成田赤十字病院

研究責任者：外科 米浦 直子

住 所：〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

電話 番号：0476-22-2311（代）

以上